

私たちの まちづくり

小さな市民の 大きな力

付録 まちづくり ゲーム

Ver. 2.1



まちづくりゲーム解説書 4ページ

記録シート ×1枚

発表シート ×1枚

ゲームボード ×6パーツ（6枚を1つに結合）

ゲームキット ×1シート

まちづくりゲームとは架空の島を舞台に、まちの10年間の開発計画を立てるゲームです。ゲームの参加者は島内の各地域代表の議員としてゲームに参加し、全員の合議によって開発原資となる租税額と開発内容を決めていきます。

このゲームをプレイすることで、公的支出と税の関係性を理解し、政治参加における討議民主主義や効率・公正の関係性を疑似体験することが可能です。また、複数グループでゲームを進行した場合は、各グループが擬似政党として政策提案をし、どのグループのまちづくりプランが優れているかを投票することで、マニフェスト型の選挙も体験することができます。

ゲームセットはコピーしてお使いください。

この教材は、本書P.12の「Chapter 5 ワタシとアナタをつなぐ技術」とも連動しております。ゲーム実施の時間に余裕があれば、そちらの方もぜひご参考下さい。



まちづくりゲームの遊び方

海風島の各集落の代表者となって、まちづくり会議を開催し、まちの開発計画を立てるゲームです。ゲームを通して、政治参加を体験してみよう！

まちづくりゲームの基本ルール

同時プレイ人数 4～6人

ゲームの目標 より暮らしやすいまちの開発計画を立てる

ゲームの進め方

最大9ヶ月（ゲーム内時間）をかけて住民の要求を参考にしながら、公共施設の設置や土地開発のあり方を決めます。公共施設を設置するには費用がかかります。設置費用は、まちの住民が10年間で払う税金から捻出するため、必要な税額を最後に決定します。



海風島の人口構成

海風島の総人口	30,000人
納税者人口	12,000人

海風島の世代別人口

0歳～15歳	16歳～64歳	65歳以上
6,000人	20,000人	4,000人

【注意】税金は納税できる人（納税者人口分）からのみ徴収できます。

施設の設置費用

施設の種類	設置費用	施設の特徴
中学校	20億円	新しく新設が必要で、必ず1つは設置しなければならない。子ども達が学びやすいように、設備を充実した。
ゴミ処理場	40億円	新しく新設が必要で、1つでまち中のゴミを処理することができる。ゴミ処理場の周囲は悪臭と空気汚染の被害があり、自然環境も破壊する。
役所(小)	15億円	必要最小限の広さと設備で、窓口以外に住民が利用できるスペースはない。
役所(大)	50億円	利用しやすく、住民が利用できる会議室やホール、図書室、駐車場も完備
公立病院	30億円	内科や外科など各科が揃っており、充実した医療が受けられる。日頃の診療だけでなく、入院や手術、精密検査、救急搬送も可能。
下水処理場	40億円	わずかに臭うが、下水処理場がなければ海や川が次第に汚れていく。1つでまち中の汚水を処理でき、海や川の環境を守ることができる。
大型空港	100億円	大型の国内線も国外線も就航できるが、半径4km以内の騒音がひどい。飛行機の便数や路線数が増えるかどうかは、利用客数次第である。
大きな港	100億円	漁船や小型船だけでなく、大型の旅客船や貨物船も停泊できる。防波堤を建設するため海の環境を少し、破壊してしまう可能性も。
道路(1車線)	50億円	舗装されていない道を舗装でき、環境に優しいが、制限速度は時速20km。観光バスなど大型車はすれ違いできず、普通車もすれ違いはギリギリ。
道路(2車線)	70億円	舗装されていない道を舗装でき、環境を破壊するが、制限速度は時速60km。観光バスなど大型車もストレスなく行き交うことができる。
集落内開発	5億円	公園や交番、学童保育施設、地区公民館などを、小規模施設を税金で設置。集落ごとに1つは必要な施設を、1枚で1種類、全集落の中に設置できる。
開発用地整備	10億円	土地を購入し、地面を平らに造成して、工場や商業施設を誘致する。実際に誘致が成功するかどうかは不明で、空き地のままになる可能性も。

ゲームを始める前に

- 1 プレイヤー同士でじゃんけんをしてください。勝ち残った1人が首長（ゲームマスター）です。
- 2 首長がリーダーとなって、まちづくりゲームのゲームボードとゲームキットを、ゲームをプレイできる状態に用意してください。（「ゲームボードとゲームキットの使い方」を参照）
- 3 首長を中心に「まちづくりゲームの進行」「まちの概要」の読み合わせをして、ルールを確認したら、「まちづくりゲームの進行」の順番通りにゲームを始めてください。

首長（ゲームマスター）の役割

- ① ゲームマスターとして、ゲームの進行・管理・タイムキーパー役と審判（最終決定者）を務めます。
- ② 1ターンごとに3分以内で話し合いの結論がまとまらない時は、首長が独断で決定を下します。
- ③ まち全体のことを考えて、まちにとって最適だと思う意見を主張し、決断を下してください。

まちづくりゲームの進行

首長になったプレイヤーは、この順番通りに進行してください。

1

首長以外のプレイヤーで、地図上の5つの集落の中から、自分の拠点地を選びましょう。1つの集落を拠点とできるのは1人までです。誰も拠点としていない集落が出ないように、調整してください。

次に首長の左となりの人から時計回りに、集落状況性カードを引いてください。カードの番号と同じ「記録シート」の集落番号が、その人の担当する集落の状況です。集落名と担当者名を書き入れてください。

コマになるもの（消しゴム等）をゲームボードの時間経過欄のスタート位置に置いてください。

2

プレイヤーは、自分が担当する集落の代表者です。集落の住民の気持ちを考えて、意見を主張してください。首長はプレイヤー全員の意見を聞けるように、各プレイヤーに話を振ってください。

まずは新設する中学校をどこに設置するのか決めます。首長がリーダーとなって話し合い、3分以内に全員が納得し合意できる地図上の場所に、中学校カードを置いてください。

3分以内に全員で合意できなかった場合は、首長が話し合った内容を参考に、独断で中学校カードを設置してください。

3

施設カードを置いたら、設置費用を記録シートに記入します。施設カードの設置場所を決定した段階で、まちづくりの話し合いが1ヵ月、経過したことになります。時間経過のコマを進めてください。

時間経過欄の赤色マスにコマが進んだ時は、ランプを1枚だけ引いてください。サイコロを使う場合は2回振って、その合計の数字とします。

ランプの数字に対応した「住民の声」を、記録シートに記入します。

4

次に、中学校を設置した時と同様に、3分以内でゴミ処理場の設置場所を決めてください。設置したら、時間経過欄のコマを6月に進めます。

今度は、役所を設置する場所を3分以内で決めてください。役所は、安くて使い勝手の悪いものと、高くて使い勝手の良いもののどちらのカードを設置するか選べます。どちらか1つを選んで設置してください。設置したら、時間経過欄のコマを7月に進め、ランプを引いて、「住民の声」を書き込みます。

5

残りの6ヶ月も同様に、必要な施設カードから配置していきましょう。どの施設カードを先に設置するかは、首長が決めてください。

途中で設置すべき施設がなくなり、まちづくりが終了した場合は、そこで終わっても構いません。

8月の話し合いが終了した時点で、首長の信任投票を行います。首長を変える必要があるかどうか、首長以外のプレイヤーによる多数決で決めてください。

多数が首長の交代に賛成した場合は、首長以外のメンバーでじゃんけんをして首長を選出してください。旧首長と新首長のポジションを交代します。

6

ゲームが終了したら、1人当たりの税額を確認して、「発表シート」をまとめてください。同じ内容の「住民の声」が複数出た場合は、出た回数分だけより強い声が上がったと解釈してください。

発表シートをまとめたら、最終評価の点数を計算してください。点数のより高い方が、より良いまちづくりができたということになります。

複数のグループが同時にゲームをプレイした場合は、まちづくりの発表を行い、どのグループのまちづくりが最も優れているか、投票で決めてください。

海風島の概要（地理・生活・経済・公共施設）

地理的な概要

- 1 沖縄本島より 60km の距離。（那覇市より船で 2 時間、飛行機で約 20 分）
- 2 気候は沖縄本島とほぼ同じで、1 年を通して温暖である。
- 3 水道水は山の自然が蓄えた綺麗な水の流れる川から取水しているため、集落も主に川の近くに形成しており、川の上流の水が汚染されると生活ができなくなる。
- 4 海風港は漁船と小型のフェリーだけが停泊することができ、毎日 1 便が那覇と往来。海風飛行場は 10 人乗りの小型機だけが離着陸でき、不定期に 1 便が那覇と往来。
- 5 北部の海は生活排水による汚染が進み、早急な対策が求められている。
- 6 南部には綺麗な海が広がり、サンゴ礁を中心に良い漁場となっているほか、ダイビングスポットとしても世界的に注目を集めつつある。
- 7 東部は米軍基地の返還地で、現在は車も通ることのできない獣道と荒地だけである。

生活や経済的な概要

- 1 サトウキビや野菜の栽培と漁業がさかんで、この 2 つが島内の産業の 5 割を占める。
- 2 近年はエコツーリズムやダイビングを中心とした観光業も、増加傾向にある。
- 3 大きな商業施設（ショッピングセンターなど）は存在しておらず、小さなスーパーが集落内に点在しており、食料・日用品や簡単な衣料品は島内のお店でも入手できるが、それ以外は通信販売が沖縄本島へ買い出しに行かなければ入手できない。
- 4 若者を中心に農業や漁業に従事する者が減少し、第 2 次産業や第 3 次産業の就職先も不足しているため、島内で仕事を見つけられずに困っている者も多い。
- 5 1 時間に 1 本だけ島内の各集落間を 1 周するバスが走っているが、各家庭は自家用車を 1 台以上所有しており、観光客からは島内の交通の便が悪いとの声も多い。
- 6 ダイビングスポットや港・飛行場の近くの集落には、観光客を対象としたホテルや飲食店・商業施設が増えつつあり、年々にぎわいを増してきている。

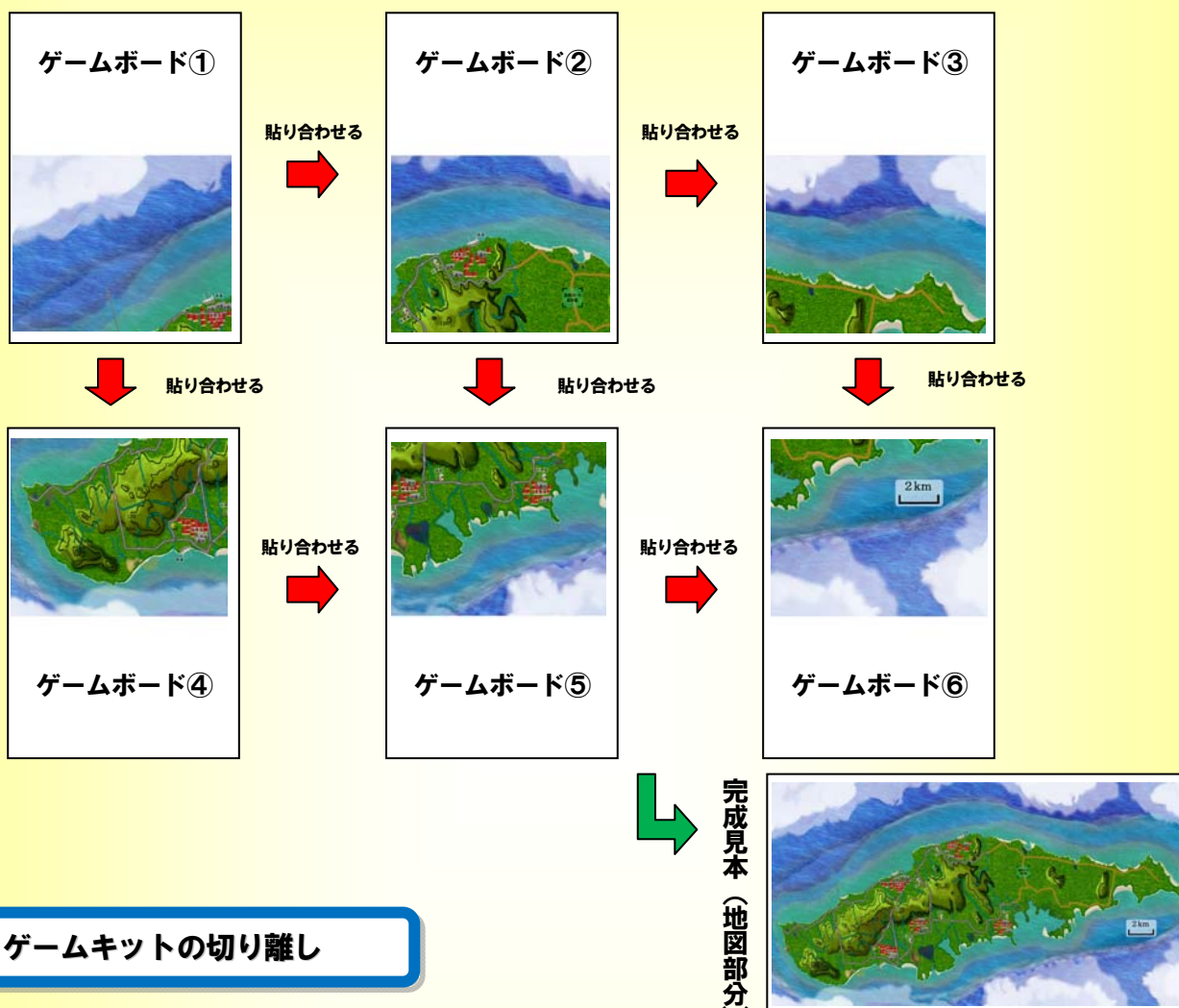
施設の概要

- 1 1 学年の人数が 400 人もおり中学校 1 つでは生徒数が多過ぎるため、中学校を最低 1 校は新設する必要に迫られている。
- 2 現在の役所は築 40 年以上も経って老朽化が進んでおり、早急に新しい役所を建設しなければならないが、費用を抑えて小さく作るか、利便性よく大きく作るかで模索中。
- 3 生活スタイルの変化と観光客の増加により排出されるゴミの量が大幅に増加し、焼却炉の老朽化と埋立地の満杯もあって、早急に新たなゴミ処理場の新設に迫られている。

ゲームボードとゲームキットの使い方

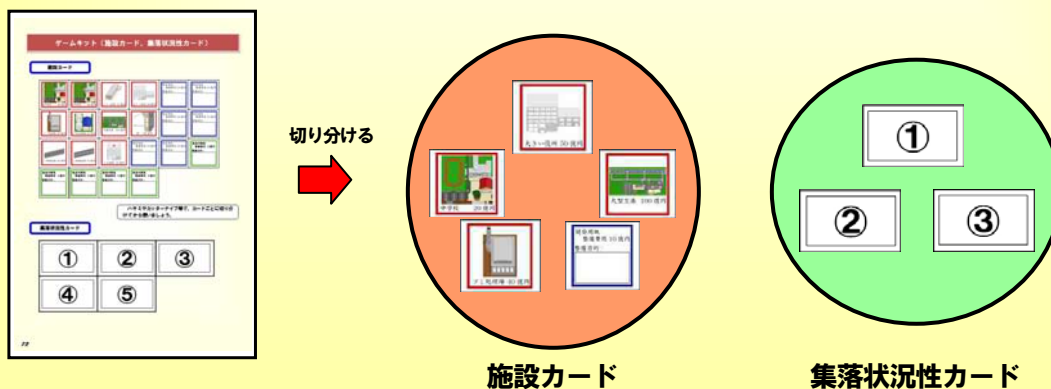
ゲームボードの結合

66～71 ページまでの 6 分割ゲームボードをコピーして、線に沿って切り抜き、下図のように張り合わせて、1 枚の大きな地図にしてください。



ゲームキットの切り離し

72 ページをコピーして、施設カードと集落状況性カードを線に沿って切り分けてください。集落状況性カードはゲーム開始前に、施設カードはゲーム中に使います。



まちづくりゲーム発表シート

配置した施設の総額

1人あたり1ヵ月納税額

まちのアピールポイント・まちづくりで重視したポイント

住民から挙がった声	
住民の声への対応	

中学校を配置するとき、何を考慮したか

ゴミ処理場を配置するとき、何を考慮したか

最終評価

【～8点】大失敗！ 【9点～】微妙・・・ 【14点～】まあまあ 【18点～】すごい！

	費用と税額	公平と公正	民意への態度	将来の見通し	【使い方】
5	まちに必要な施設を必要な分だけ適切に設置しつつ、税負担は住民の生活を圧迫しない程度に抑えている。	ある特定の集落のみが利益を受け、ある特定の集落だけが不利益を受けず、どの集落も公平に恩恵と負担を受けている。	住民の声をしっかりと受け止め、住民の声に配慮したまちづくりが行われている。	まちの現状を把握して将来を意識し、まちが今後も発展し暮らしやすくなるように、持続可能なまちづくりを行った。	項目ごとに、当てはまる状況の点数を下欄に記入し、4項目の点数を合計しましょう。
3	まちに必要な施設を設置したが税負担が重たくなってしまった。もしくは税負担は軽い、まちに必要な施設が設置されていない。	なるべくどの集落も平等に利益を受けるよう配慮しているが、迷惑施設を一部の集落に負担してもらっている。	住民の声もなるべく受け止めるように配慮はしたが、自分達の計画に沿わない一部の意見は、まちづくりに反映していない。	まちの将来を考えてまちづくりを行ったが、夢を追いかけて現実味がなく、実際に将来が良くなるかどうかは不透明である。	
1	まちに必要な施設が設置されていないにも関わらず、不要な施設が設置され、そのため税負担が重く住民の生活を圧迫している。	ある特定の集落だけが過剰に恩恵を受けているにも関わらず、迷惑施設の負担は別の集落に全て押し付けている。	住民の声を一切受け止めることなく、あくまで自分達の思うままにまちづくりを進めた。	まちの将来を考えるとなく、住民の声など目の前の問題だけに対処していく形で、惰性的なまちづくりを行った。	
点数					

【 トランプを引いて出た数字と「住民の声」の対応表 】

カード番号		「住民の声」の内容
1	8	もっと観光客を呼び寄せられるよう、施設を整備して欲しい
2	9	産業を振興して、もっと若者が働ける仕事を増やして欲しい
3	10	もっと自然環境に配慮した、まちづくりをしてほしい
4		経済を振興して、高い収入が得られるようにして欲しい
5	11	体が弱った年寄りも暮らしやすいよう、もっと配慮して欲しい
6	12	子ども達が健全に成長できるまちにして欲しい
7	13	米軍基地の返還地を、もっと有効活用して欲しい

ゲームボード下部の時間表示欄の「トランプを引く」マスにコマが止まったら、トランプを引いて、『住民の声』を確認してください。



のりしろ

ボード②と貼り付ける

のりしろ

ボード④と貼り付ける

トランプ置き場

(サイコロ置き場)

ジョーカーを除いたトランプをよく切って、この上に置いてください。

(サイコロを使う場合は、6面サイコロを2つ用意してください。)

まちづくりゲーム

海風島の タウンミーティング



ゲームの流れ

プレイヤー全員の意見を参考に、首長がどの施設カードを設置するか決める
1度に設置できるのは1つ

地図上のどの場所に設置するのか、3分以内に話し合っ決定。
3分以内に決まらなければ首長が独断で決定

記録シートに設置金額を記入し、時間経過欄のコマを進める。
「トランプを引く」に止まったら、トランプを引く

次に設置する施設カードを決める。
9ターン（9ヶ月）繰り返して、まちづくりを完成させる

集落内投資カード置き場

集落内カードを設置したい場合は、ここにカードを置いてください。

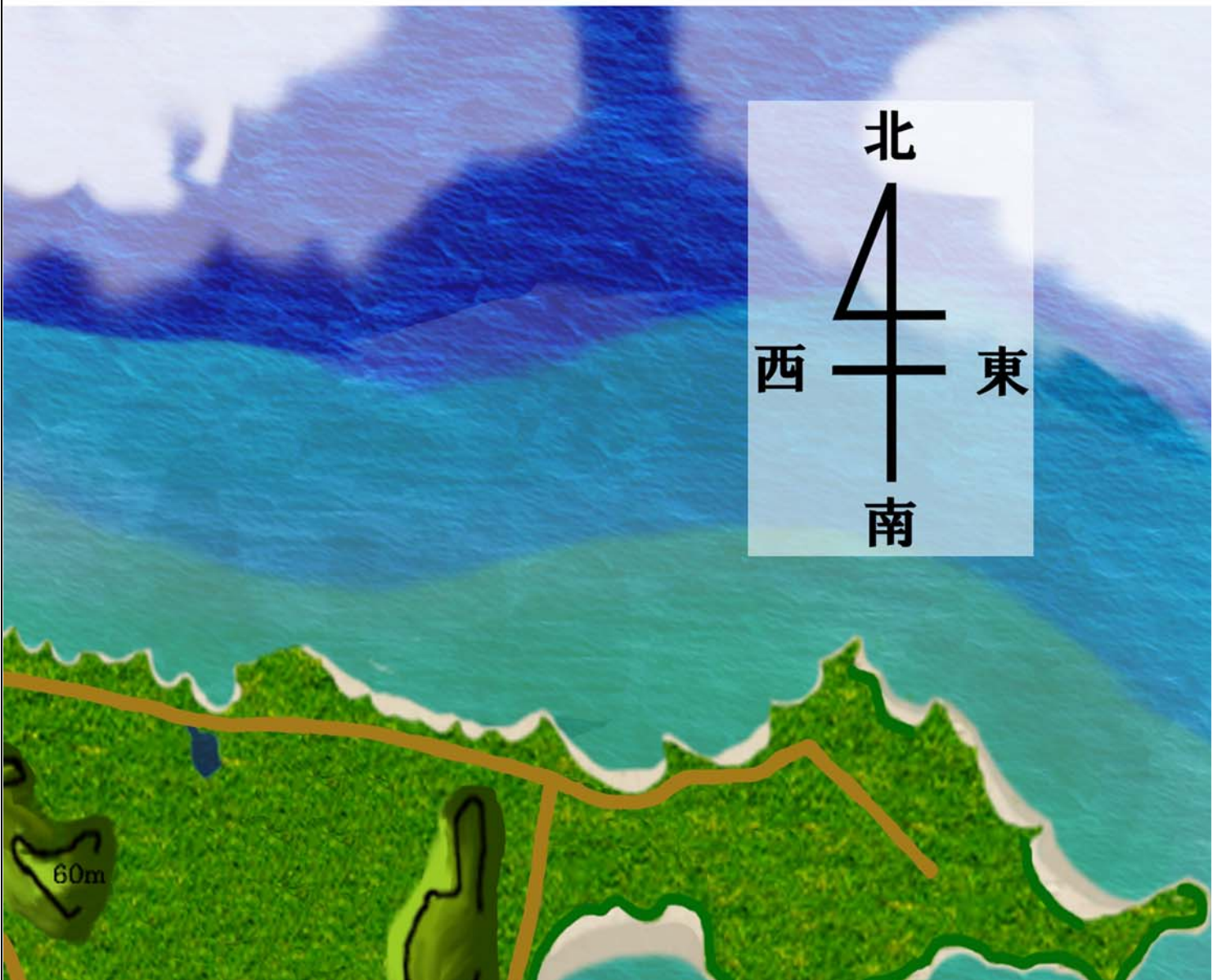
1 枚目

2 枚目

3 枚目

4 枚目

5 枚目



のりしろ

ボード⑥と貼り付ける





6月
(3ヵ月目)



7月
(4ヵ月目)
トランプを引く



8月
(5ヵ月目)



**首長の
信任投票**
首長以外の過半数の
反対で首長解任

首長が不信任にな
ったら、首長以外の
メンバーから新首長
を選出してコマを進
める。

消しゴム等をコマにしてください。

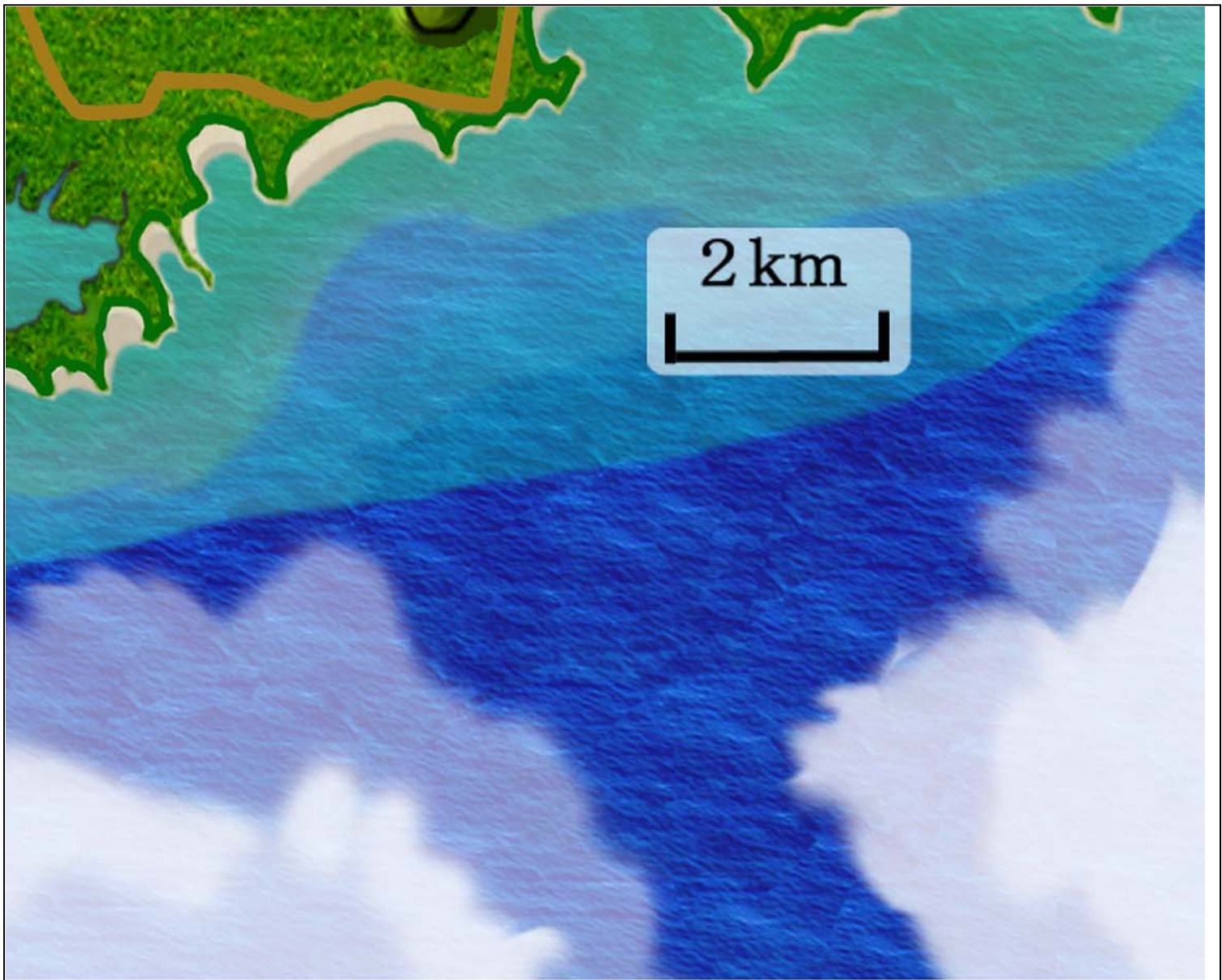
11月
(8ヵ月目)
トランプを引く



10月
(7ヵ月目)



9月
(6ヵ月目)
トランプを引く



未使用の施設カード置き場

1枚ずつ切り離した施設カードを、ここに置いてください。

まちづくりで設置したい施設があれば、ここからカードを取って地図中に配置してください。

ゲームキット（施設カード、集落状況性カード）

施設カード

 中学校 20億円	 中学校 20億円	 小さい役所 15億円	 大きい役所 50億円	開発用地 整備費用 10億円 整備目的： <input type="text"/>	開発用地 整備費用 10億円 整備目的： <input type="text"/>
 ゴミ処理場 40億円	 下水処理場 40億円	 大型空港 100億円	 港 100億円	開発用地 整備費用 10億円 整備目的： <input type="text"/>	開発用地 整備費用 10億円 整備目的： <input type="text"/>
 一車線道路 50億円	 二車線道路 70億円	 公立病院 30億円	開発用地 整備費用 10億円 整備目的： <input type="text"/>	開発用地 整備費用 10億円 整備目的： <input type="text"/>	集落内開発 整備費用 5億円 整備目的： <input type="text"/>
集落内開発 整備費用 5億円 整備目的： <input type="text"/>	集落内開発 整備費用 5億円 整備目的： <input type="text"/>	集落内開発 整備費用 5億円 整備目的： <input type="text"/>	集落内開発 整備費用 5億円 整備目的： <input type="text"/>		

ハサミやカッターナイフ等で、カードごとに切り分けてから使いましょう。

集落状況性カード

①	②	③
④	⑤	

本書は沖縄県選挙管理委員会 WEB サイト内にて、電子データとしても配布しております。指導の手引き等も掲載する予定ですので、必要な場合は WEB サイトよりダウンロードして、ご活用ください。

WEB サイト <http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/contview.jsp?cateid=38&id=10554&page=1>

市民性教育副読本策定委員会

島袋 純（琉球大学教授）

里井 洋一（琉球大学教授）

与那嶺 匠（教育学修士）

間 一仁（琉球大学大学院）

平良 裕樹（琉大附属中学校教諭）

山内 治（琉大附属中学校教諭）

知花 哲也（琉大附属中学校教諭）

写真： 琉球大学教育学部 島袋純研究室

イラスト・作図・ゲームデザイン： 与那嶺匠

中学校社会科
総合的な学習の時間 用 副教材 **私たちのまちづくり** — 小さな市民の大きな力 —

平成 24 年 3 月 31 日 発行

監修者： 島袋 純
市民性教育副読本策定委員会

著作者： 与那嶺 匠

協力： 琉球大学教育学部 島袋純研究室
琉球大学教育学部附属中学校 社会科研究室
沖縄自治研究会
沖縄県明るい選挙推進青年会 VOTE

発行者： 沖縄県選挙管理委員会 〒900-8570 那覇市泉崎 1-2-2 (TEL : 098-866-2141)
沖縄県明るい選挙推進協議会 同上 (TEL : 098-866-2333)

印刷者：

Citizen literacy



私たちの まちづくり

小さな市民の 大きな力

2012年 改訂版

**沖縄県選挙管理委員会
沖縄県明るい選挙推進協議会**